



第6回常任理事会

日時 令和元年6月11日(火) 18:00～19:11
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・水谷・山科・岡部・伊藤・笹本・青木各常任理事、藤瀬・篠島両監事
 (事務局：安達局長ほか10名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師審査委員会委員・不服審査委員会委員の委嘱に関する件(三戸常任理事)
 母体保護法指定医師審査委員11名、同不服審査委員7名を委嘱することを決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(青木常任理事)
 申請のあった日医生涯教育講座15件を承認することと決定。

第3号 第3回理事会[6月15日(土)]の議案に関する件(三戸常任理事)
 6月15日(土)に開催する第3回理事会の提出議題を決定。

報告事項

1. 第9回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」[5月23日(木)・日医]について(青木常任理事)

東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野・赤林教授より「生命・医療倫理学の現状と今後の展望」について講演が行われた。その後のケーススタディでは、①悪い検査結果の通知のあり方、②医療安全についての2つの事例について、参加者が6つのグループに分かれ、ワークショップ形式での議論後、グループからの発表および全体討議を行った。参加者は62名であった。

2. 第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会[5月30日(木)・和歌山市]について(目黒常任理事)

第1部では全国メディカルコントロール協議会連絡会・行岡会長ほか4名から「現場状況の重要性」

「地域包括ケアと救急」「救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応の現状」等、ACPに関わる高齢者等の搬送問題を中心に講演が行われた。第2部では「消防機関と医療機関のデータ連携の在り方について」をテーマに、ICTを活用した佐賀県、岐阜県、大阪府の取り組みについて3名のシンポジストから発表があり、意見交換が行われた。このほか関係省庁からの情報提供があり、参加者は約600名であった。次回は来年1月31日に宮城県仙台市で開催される。

3. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会[5月31日(金)～6月1日(土)・和歌山市]について(目黒常任理事)

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座・加藤教授が学会長となり「救急医療のリアリティー」をテーマに開催された。会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッションなどが行われ、参加者は約2,600名であった。次回は来年6月5日(金)～6月7日(日)、国士舘大学大学院救急システム研究科・田中教授が学会長となり「病院前医療における多様化する多職種連携と将来像」をテーマに国士舘大学梅が丘校舎・世田谷校舎で開催される。

4. 医師法21条と2月8日付厚生労働省医政局医事課長通知「医師による異状死体の届出の徹底について」の解説[6月1日(土)・東京都]について(青木常任理事)

日本医療法人協会・小田原常務理事より「医師法第21条に関する懇談会の概要」について、坂根Mクリニックの坂根理事長より「医師法第21条に関する参議院厚生労働委員会質疑概要」について講演が行われた。その後、日本医療法人協会・顧問弁護士/井上法律事務所・井上所長より「医師法第21条の解説と医療機関の今後の対応」について講演があり、2月8日付厚生労働省医事課長通知からマニュアルへの追補および質疑応答集が取りまとめられるまでの経緯について説明があった。参加者は43名であった。

5. 第16回北海道禁煙フォーラム[6月1日(土)]について(長瀬会長)

「きれいな空気はみんなのもの」(主催：日本禁煙学会北海道支部・日本禁煙推進医師歯科医師連盟北海道支部・当会)をメインテーマに、札幌駅前地下歩行空間チ・カ・ホでフォーラムを開催した。札幌よしもとの芸人による司会で、市立千歳市民病院循環器科・竹内主任医長による「フットケアとタバコ(禁)」をテーマとした特別講演等を行ったほか、禁煙ポスター展示や禁煙相談コーナーを開設した。参加者は102名であった。

6. 第1回勤務医部会運営委員会ならびに若手医師専門委員会[6月2日(日)]について(藤井常任理事)

地域医療の現況調査について、3月に報告書とし

て取りまとめ、関係各位へ送付したことを報告後、引き続き隔年で実施することを確認した。6月からの新運営委員に引き継げるよう、考察する大きな柱について協議し、詳細については次回の委員会において協議するが、従来の項目に加え働き方改革の医療機関への影響について問う項目を追加することとした。

7. 外部各委員会報告

(1) 北海道がん対策推進委員会 第1回がん検診専門部会 [5月29日(水)] について

(伊藤常任理事)

がん検診の事業評価を適切に実施するため、平成30年度の市町村がん検診の各種結果の把握方法について調査することとなった。また、先に実施した、検診実施機関における事業評価のためのチェックリストの充足度に関する調査結果について、回答医療機関に情報提供することが了承された。

(2) 第1回北海道アレルギー疾患医療連絡協議会 [5月29日(水)] について (三戸常任理事)

北海道におけるアレルギー疾患対策の推進に関し、アレルギー疾患の実情を継続的に把握し、拠点病院を中心とした診療連携体制等の構築、施策の企画・立案等を図るため、道内3医育大学、保健医療福祉関係者、学校関係者、行政で構成する連絡協議会が開催された。はじめに本連絡協議会の進め方、都道府県におけるアレルギー疾患の医療提供体制について報告があった。その後、アレルギー疾患患者および関係医療機関の医療従事者に対する情報提供と、アレルギー疾患対策の基礎資料として活用することを目的に、内科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、歯科を標榜するアレルギー疾患に対応する医療機関を対象として行う実態調査について、項目等の内容を検討した。

(3) 北海道防災会議 [5月30日(木)] について (長瀬会長)

北海道地域防災計画、北海道水防計画、市町村地域防災計画の修正、今年度の北海道防災総合訓練の実施について協議した。その後、平成30年北海道胆振東部地震に関する検証報告書および今年度の北海道原子力防災訓練の実施について事務局から報告があったほか、胆振東部地震の経験を踏まえた今後の防災対策の取り組みについて意見交換を行った。

8. 外部報告

(1) 北海道医師会災害時医療救護活動指針について (目黒常任理事)

当会救急医療対策部会員、北海道関係部局、有識者で構成する災害時医療救護活動マニュアル作成委員会ならびに同委員会ワーキンググループでの議論を経て、災害時における当会の方

針を定めた災害時医療救護活動指針(暫定版)を作成した。今後は、本指針に基づき具体的なマニュアルの作成に着手していく予定である。

9. その他

(1) 第155回臨時時代議員会報告「当面の医療政策」について (笹本常任理事)

小職より4つのテーマが決定したことについて報告し、総論部分について解説した。

第8回常任理事会

日時 令和元年6月25日(火) 18:00～19:18
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外園各監事
(事務局：安達局長ほか10名)

協議事項

第1号 役員会務分担に関する件 (長瀬会長)

14部の部長、副部長および各部の担当役員ならびに理事会に設置されている小委員会委員を決定。

第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(三戸常任理事)

6月19日の審査委員会で指定「可」とされた、新規申請者1名を指定医師とすることと決定。

第3号 北海道新生児聴覚検査検討協議会に係る構成員の就任に関する件 (三戸常任理事)

三戸常任理事を推薦することと決定。

第4号 高齢者医薬品適正使用推進事業に係る委員の推薦に関する件 (三戸常任理事)

橋本常任理事を推薦することと決定。

第5号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件 (生駒常任理事)

認定要件を満たした新規申請者5名と更新申請者95名を承認し、日医へ申請することと決定。

第6号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件 (北野常任理事)

認定要件を満たした新規1名、更新1名の申請を承認し、日医へ申請することと決定。

第7号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座15件を承認することと決定。

第8号 その他

(1) 7月行事予定表に関する件 (事務局)

報告事項

1. 産業保健活動推進委員会 [6月7日(金)] について (生駒常任理事)

小職より昨年度の産業保健各種研修会の実施状況について報告の後、今年度の産業保健研修会(4回)

とメンタルヘルスセミナーの講師を決定した。続けて、日医産業保健委員会の検討内容と日医が進めている産業医の組織化の構想について説明の後、今後の委員会のあり方について意見交換を行った。

2. 都道府県医師会医師偏在対策・働き方改革担当理事連絡協議会〔6月12日(水)〕について

(藤井常任理事)

日医・松原副会長代読による日医会長の挨拶に続き、厚生労働省・吉田医政局長からの挨拶が行われた。日医より医師偏在対策ならびに働き方改革について4題の講演が行われ、その後厚生労働省を交えた総合討論が行われた。参加者はTV会議システムを含めた237名であった。

3. 第145回日医定例代議員会〔6月23日(日)〕について (深澤副会長)

横倉会長の挨拶と日本医学会の門田会長の挨拶の後、中川副会長より平成30年度日本医師会事業報告があり、その後、第1号議案・平成30年度日本医師会決算の件が上程され、今村副会長により提案理由の説明の後、財務委員会の結果報告が橋本委員長より行われ承認された。次に、第2号議案・令和2年度日本医師会会費賦課徴収の件が上程され、今村副会長より提案理由の説明の後、承認された。その後、代表質問16件の質疑が行われた。北海道ブロックからは、阿久津代議員より『地域医療構想における公立病院との調整のあり方について』、鈴木予備代議員より『警察医部会などの全国組織化について』の質問を行った。

4. 日医理事会報告 (長瀬会長)

中医協の件、第118回社会保障審議会医療保険部会の件、第3回中央医療対策協議会の件、国土交通省令和元年度今後の自動車損害賠償保障制度のあり方に係る懇談会の件等の報告等があった。また事前の理事打合せにおいて、「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」について、令和

2年度診療報酬改定における薬価改定財源(引き下げ分)の診療報酬本体への充当についての意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

5. 外部各委員会報告

(1) 第1回道南ドクターヘリ運航調整委員会〔6月13日(木)〕について (目黒常任理事)

消防関係部会、フライトナース部会、事後検証部会の開催結果報告後、平成30年度運航経費の決算、搭乗看護師の要件、運航要領の一部改正、運航体制検討WGの設置について案が示され協議した。

(2) 第1回北海道がん対策基金運営委員会〔6月19日(水)〕について (藤原副会長)

本委員会の委員長および副委員長について協議し、委員長に小職、副委員長に北海道がんセンター・加藤院長が選任され、併せて運営委員会細則に則り、小職から審査・評価部会委員5名を選任した。その後、事務局から平成30年度北海道がん対策基金助成事業の実施状況や自動販売機・募金箱の設置状況、がん対策サポート企業の登録状況、本基金の平成30年度収支決算について報告が行われた。

道総医協関連事項 (深澤副会長)

1. 地域医療専門委員会第1回看護対策小委員会〔6月18日(火)〕について (藤井常任理事)

第8次看護職員需給見通しについては、従来の積み上げ方式ではなく、将来の医療需要を踏まえた推計方法を検討することとなっている。この度、国の看護職員需給分科会において都道府県が作業を行うための推計ツールが提示され、国が策定した方法を基に北海道の需給見通し推計を算出し、7月末に国に報告する。また都道府県に裁量がある推計項目の推計方法、今後の看護職員の安定的な確保に向けて効果的な確保対策について協議し、11月には報告書を取りまとめる予定。

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのHPKI電子署名に対応しています



<問い合わせ先>

北海道医師会 事業第一課

TEL 011-231-7661

<http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html>

日本医師会電子認証センター

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです